
俺と野球と学園生活

グレイプニル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺と野球と学園生活

【Nコード】

N4151H

【作者名】

グレイプニル

【あらすじ】

これは、私立龍神学園野球部を舞台にドタバタ野球コメディです。

プロローグ（前書き）

初めて書く小説です。

文章構成もまだなのですが、何卒よろしく願います。 評価お願いします。

ブローグ

朝、俺はケータイのアラームで目覚ます。

今日から高校に入るということもあり、いつもより早めに起きた
ハズだった。俺は目を疑った。

現在時刻 9：16分：

なんで！？アラームをセットしたのは7：30の筈、なのに。う
んと頭抱えていると、ケータイが鳴った。相手を見ると成瀬^{なるせ}
華^かと表示されていた。

出た方がいんだろうなと思い、通話のボタンを押す。

「あんた、何時まで寝てるのさ！」

「何時って…、朝まで？」

「学校どうすんのさ！もう、入学式始まるよ！」

「わかったわかった。とりあえずこれから行くから…」

「さつさと来なさいよ」

ブツツ、ツーツーツと、勝手かけて、勝手に切られた。俺のタ
ーンは無視ですか？お姉さん。とりあえず着替えて、学校へ行く
準備をする。なんかだんだんメンドくさくなってきたぞ。サボる
うかなあ。ちょっと有華の反応を見てみるために、メールを送って
みる。

「サボっていいかな？」

すぐ返ってきた内容が

「サボったら、コロスよ」

アイツがいうことは半分マジだ。ということもあり、俺は即座に
学校へ行く準備を済ませる。

このさい、朝メシを食っている暇はない。

プロローグ（後書き）

次からいろいろありますので見てください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4151h/>

俺と野球と学園生活

2010年10月22日00時43分発行